

※ この一覧表は、発言予定原稿をまとめたもので、当日の発言とは異なる箇所があります。

委員会	項目	質問内容	答弁内容
厚生	虐待	<p>○児童虐待について</p> <p>最近、テレビでは虐待の報道が多くなりました。非常に悲しい現実を見聞きしています。そのことについて、いくつかの質問をさせていただきます。</p> <p>上越市での虐待はどれくらいあるのですか。また、虐待に対する対策はどのようなものがあるのか、お答えください。</p>	<p>「虐待に対しどのような対策を行っているか」との問いですが、当市では今年度より、積極的に地域へ出向き、出前講座を実施しています。現在25ヶ所以上で実施し、1,200人以上の参加者がありました。</p> <p>主な講座開催先は保育園保護者会、小中学校PTA、町内会、さらには民生委員・児童委員のブロック研修でも実施しました。地域の皆さんに虐待についての現状を知っていただき、皆さんとともに地域で見守り、虐待が起きないよう予防対策を行っています。</p> <p>平成30年度の虐待児童数・世帯数は479人・230世帯で毎年増加しています。上越市の主な虐待内容はネグレクト、児童の育児放棄が多く、続いて殴るなどの身体的虐待、そして言葉による脅しやお父さんとお母さんのケンカ暴力の心理的虐待と続いています。</p> <p>さらに市では、いろいろな関係機関との連携をとっています。保育園、小中学校でそのような様子が見られる子がいた場合や、さらには虐待が発生した場合は早期に警察、市、児童相談所と連携をして対応しています。</p>

委員会	項目	質問内容	答弁内容
厚生	虐待	<p>(再質問)</p> <p>今、おっしゃったとおり、虐待件数は増えていますよね？</p> <p>しかし、行政は実際に虐待が起こってから動くことが多いと思います。</p> <p>早めの発覚、または、未然に防ぐためにも、相談がくるのを待つのではなく、市から積極的に行動する取り組みとして、定期的な家庭訪問を実施することを提案します。</p> <p>このことにより、市民にとって行政が身近なものになり、より相談しやすい体制になると考えています。例えば、区ごとに対応できる場所が必要だと思います。また、移動の負担を軽減するためにも市役所本庁だけでなく、各区の総合事務所にも、そのような課を設置すると良いと思います。</p> <p>このようなことに対して、どう考えますか。</p>	<p>(再質問)</p> <p>再質問にお答えします。ご質問いただいた通り、虐待が起きないようにするための予防対策も大変重要と考えています。保育園、小中学校、地域と連携の中で、不審な子が居た場合は早期に家庭訪問を行い、ご提案いただいた通り定期的に繰り返し行っていきたいと考えています。</p> <p>とにかく虐待は見えにくいので、早期発見が重要です。市民の皆さんからも通報等で大変重要な役割を担っていただきたいと思いますので、今後も出前講座を行い、虐待について周知に努めていきたいと思っています。</p> <p>さらに質問にお答えします。身近な各区総合事務所でも相談体制が必要ではないかとの問いですが、その通りだと思います。実は市では各区総合事務所に「子育て世代包括支援センター」を平成29年度から設置し、市民・福祉グループの保健士が対応しています。しかし虐待はデリケートな問題で、身近かで知っている人がいる地域での相談を好まない人も多く、その他にも木田庁舎や、現在上越市では「すこやかなくらし支援センター」でも相談を受ける体制を整えていて、市全体でその人それぞれに合った相談体制を整えて対応しています。</p>

委員会	項目	質問内容	答弁内容
厚生	鳥獣保護	<p>○鳥獣対策について</p> <p>私が住む吉川区は東にくびき平野の田園風景、西にパラグライダーで有名な尾神岳があり、日々その風景を見ていやされています。</p> <p>こうした自然の中で、生活する私たちは常日頃からどうやったら鳥獣と共に暮らしていけるか考えています。そこで全ての鳥獣と共存するための対策として、現在、具体的に何をしているかをお聞きします。</p> <p>その対策で、どのような変化があったのか、また、どのような成果が出ているのかお聞きします。答弁よろしくお願ひします。</p>	<p>上越市では「自然環境保全条例」を平成20年4月施行により、自然環境保全地域を指定して、豊かな自然環境が残る地域の種の保存に努めています。</p> <p>しかし最近鳥獣被害が地域で発生していて、上越市でも公園にイノシシが現れたり、熊が民家に現れたりして、人的被害におよぶ状況が増えています</p> <p>国、県の方針で、鳥獣を適正管理することが決められています。</p> <p>例えば熊に関しては、絶滅している地域もあり、勝手に駆除できず、適正数を確保することも重要となっています。</p> <p>しかし現在イノシシや日本シカ、たぬき、日本サル、カワウなど大変多く発生し、増える数の方が多く、農作物への被害もでているため、逆に捕獲し適正な数に削減をしなければいけない状況になっている鳥獣もいます。</p> <p>鳥獣との共存が現在難しい状況です。</p> <p>しかし現在、鳥獣と共存する対策として、平成30年度と今年度で「緩衝帯」の整備を名立区と金谷地区にモデル事業として行いました。熊などが人里に出ないための取組みですが、少しずつ成果はでてきています。</p>

委員会	項目	質問内容	答弁内容
厚生	鳥獣保護	<p>(再質問)</p> <p>最近熊の出没によるけがなど鳥獣による人的被害が続いています。また、ときどき路上に小動物の死がいがあるなど、鳥獣が人間からの被害を受けることもあります。</p> <p>これらについて、どう考え、今後の方針をどうしていくのか、お聞きしたいです。答弁よろしくをお願いします。</p>	<p>(再質問)</p> <p>再質問にお答えします。環境保全課では、鳥獣による人的被害と生活環境被害への対応に取り組んでいます。直近では平成26年に中郷区で熊に襲われケガをした事例がありますが、そんなに多くの人的被害は発生していません。</p> <p>最近生活環境被害で五智公園や潮稜中学校、柿崎グラウンドをイノシシが荒らして環境を悪化させています。</p> <p>そのイノシシなど鳥獣駆除のため、罾をしかけ猟友会から支援をお願いして、年間600頭を捕獲しています。現在はとにかく適正な数に減らすことも鳥獣との共存にむけての取組みとなっています。</p> <p>そして先程もお答えしましたが、「緩衝帯」の整備など、地域の土地を荒れた状態にしないように整備することに寄って、鳥獣が人里に下りてこない取組みも合わせて行っています。</p>

委員会	項目	質問内容	答弁内容
農建	鳥獣被害	<p>○鳥獣被害対策について</p> <p>最近、上越市では、クマやイノシシが目撃され、それらによる農作物の被害が起きています。その被害に対し、市は、どのようなことをしていますか。</p> <p>また、補助はありますか。お聞きします。</p>	<p>上越市においても、野生鳥獣による被害は深刻なものになっていて、その大部分はイノシシによるものです。</p> <p>鳥獣被害の対策については、市やJAえちご上越、NOSA I 上越支所等の農業団体、猟友会などを構成員とする上越市鳥獣被害防止対策協議会が行っています。</p> <p>イノシシによる水稲被害は平成26年度に14.6ヘクタールであったのが、平成29年度には25ヘクタールに急増いたしました。</p> <p>対策として、250頭から300頭であったこれまでの捕獲数を、29年度では444頭に強化しました。また侵入防止の電気柵を国の補助を受けて、平成21年度から毎年約50キロメートル、平成30年度までに517キロメートルを設置してきました。</p> <p>併せて、電気柵の耐用年数がおよそ10年ということで、耐用年数を迎えた電気柵の更新についても、国の補助はありませんが、協議会の事業として支援を実施しました。</p> <p>このような、捕獲対策や被害防止対策の強化もあって、平成30年度の被害面積は、10.2ヘクタールに減少しました。</p> <p>今年度、イノシシの侵入を防止する電気柵の設置では、これまで被害のあった、圃場への設置や更新に加え、今後被害の発生が予想される圃場への、予防的な電気柵の設置に対して</p>

			<p>も、新たに支援することとしています。</p> <p>また、捕獲面では、平成30年度に猟友会による捕獲の強化に取り組んだ結果、平成29年度の約1.5倍となる660頭が捕獲されました。</p> <p>今年度は、イノシシが多く住んでいるのは、どのエリアなのかを調査することで、被害を及ぼすおそれのある農地を予想して、猟友会のみなさんと情報を共有するとともに、捕獲時期も、被害の多発する稲の収穫期の合わせた、わな猟を拡充することで、より実効性の高い捕獲を目指すこととしており、量と質の両面で強化を図っていきます。</p>
--	--	--	---

委員会	項目	質問内容	答弁内容
農建	鳥獣被害	<p>(再質問)</p> <p>吉川区でも、特にイノシシやハクビシンの被害が増加しています。農業法人や個人の営農者の方にもっとできる支援や補助はありますか。</p>	<p>(再質問)</p> <p>吉川区のイノシシ被害は、残念ながら市内でトップです。平成30年度では被害金額、面積共に市全体の33%になっています。</p> <p>イノシシ被害対策では、捕獲対策、被害防止対策、農地の環境保全対策を複合的に実施することが重要です。</p> <p>集落ぐるみで取り組む草刈りなどによる「生息地と農地間の緩衝帯」などの設置には、中山間地等直接支払交付金を活用できます。</p> <p>また、電気柵の設置撤去に係る費用は、集落共同での取り組みが対象となることから、集落内で協力して行ってもらうことを奨励しています。</p> <p>さらに、狩猟免許取得への支援制度により、農業者の皆さんに対し、わな猟免許の取得と猟友会への加入を進めることで、自らの農地は自ら守るという自営的な対策も促進していきたいと思います。</p>

委員会	項目	質問内容	答弁内容
農建	景観デザイン	<p>○高田城周辺の景観デザインについて</p> <p>高田公園に花見に行きますが、高田城やオーレンプラザ、陸上競技場などを生かした高田公園全体の空間形成をどのように行おうと考えていますか。</p> <p>その中で、高田公園の風景や景観、看板、広告などのPRはどのように考えていますか。</p>	<p>高田城周辺の景観デザインについて、議員の質問にお答えします。</p> <p>高田城址を中心とする一帯、高田公園は、広大な緑地面積を有する都市計画公園です。平成26年6月に改定した「高田公園基本計画」では、その景観デザインを含めた基本的な整備は、「上越市第6次総合計画」や「上越市都市計画マスタープラン」などの重要な計画に即した内容となっていて、具体的には、平成27年度から令和4年度までを期間とする「高田公園短期整備計画」で定めています。</p> <p>この短期整備計画では、先に挙げた3つの上位にある計画の方向性を十分考慮した上で、計画期間内に重点的に取り組むべき課題を抜き出し、その短期的な整備方針を決め、その達成のための事業を決めています。</p> <p>この計画では、重点的に取り組むべき課題で整理した内容から、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○オーレンプラザの建設にあわせ、市民の憩いの場、交流の場としての公園機能の更なる充実を図る。</li> <li>○桜の樹の計画的な更新と健全な育成を図る「桜の長寿命化」に取り組むとともに、桜の保存活動を通じて、高田公園に対する市民の愛着や親しみをさらに高めていく取り組みを行う。</li> <li>○安心安全の観点から老朽化した公園施設の計画的な更新を</li> </ul>

			<p>行う。</p> <p>という整備方針を定めました。</p> <p>そして、この方針の達成に向けて、各施設などが抱える課題を、「文化・憩い、交流、学び、歴史」の4つのゾーンと高田公園全体に分けて整理しました。</p> <p>そこで整理された課題を解決するための事業や整備方針を定めた、「高田公園短期整備計画」のスケジュールに従って現在、各種の事業が進められています。</p> <p>また、高田駅から高田公園への区間の案内標識を充実させるため、徒歩による来訪者を誘導する案内標識を5基設置しました。また、高田公園内施設の紹介看板も充実させるため、ポイントごとにその特徴や歴史を紹介する案内標識を20基設置しました。</p> <p>なお、四季折々の情報については、広報上越や市ノートパソコンホームページなどでPRされています。</p>
--	--	--	---

委員会	項目	質問内容	答弁内容
農建	景観デザイン	<p>(再質問)</p> <p>僕たちが望んでいる高田公園として、ゴミがなくきれいな公園や、イベントが無い日でも人がにぎわえるような公園、幅広い年齢層で楽しめる公園など、いろいろな意見があげられました。</p> <p>そこで市などは機能維持、強化、改修等の公園機能を高めるためにどのようなことを進めてきていますか。</p>	<p>市民の皆さんが望んでいる公園となるために、どのように施策を進めているかのご質問かと思えます。市長がただいまご答弁させていただきました高田公園短期整備計画の内容が、まさに、その答えになるかと思えます。</p> <p>一例をあげると、利用実態を踏まえ今後の在り方が検討されたソフトボール場は、開放的な空間ができる貴重な公園用地として、大規模イベントにも対応できる広場の整備や駐車場の整備、それに合わせた道路の再配置の検討など、跡地利用について、具体的な内容検討を進める必要があるとして、駐車場の整備、広場新設が整備方針とされました。</p> <p>整備年次は、平成29、30年で現在整備は完了し、設置された遊具は、子どもたちに大人気で、また、駐車場の整備により、利便性が向上し、大きなイベントにも対応できる広場となりました。</p> <p>このように、計画の着実な実施、ボランティアの皆さんによる桜の保護活動やクリーンアップ活動により、市民のみなさんに愛され、憩いの場として気持ちよくご利用いただける公園に進化しています。</p>

委員会	項目	質問内容	答弁内容
文経	うみがたり り (運営)	<p>○水族博物館うみがたりの運営について</p> <p>私たち吉川中学校の3年生で、うみがたりに行ったことがある人は約4人に1人という少ない数でした。旧上越水族館では、子どもパスポートを使えば、第2土曜日に中学生までの子どもが無料で入場できるサービスがありましたが、うみがたりではそのようなサービスがなくなりました。そのサービスを復活させたら、もっと入館者数が増えるのではないかと考えますが、どう思いますか。</p>	<p>上越市立水族博物館「うみがたり」は2019年6月26日、オープンしてから1年が経ちました。入館者数は約90万人で当初の目標の1.5倍に達しており、予想を超える好調な1年目でした。これだけ多くの方に関心と興味を持ってもらえてありがたいと思っています。</p> <p>うみがたりは、旧市立水族博物館の老朽化に伴い、旧施設の隣接地に総事業費113億円をかけて建設しました。規模は旧施設の約1.5倍で、通年飼育しているバンドウイルカやシロイルカ、マゼランペンギンの生息地を再現したマゼランペンギンミュージアムなどを目玉としています。</p> <p>ご質問の件ですが、上越市教育委員会では「こどもの日パスポート事業」として、公の施設の使用料及び利用料金の減免を行うことにより、子どもが家族や地域住民との様々な体験活動を通じて生活をゆとりある豊かなものとし、子どもの健全育成と市民の連帯感の醸成に資することを目的に行っています。</p> <p>旧水族博物館はこの事業の対象施設でしたが、先に申し上げたとおり新水族博物館の建設には多くの建設費がかかりました。そのため、建設費に対する収支が安定することが重要であることから、「うみがたり」については残念ながら事業の対象から外すことになりました。今後、うみがたりの収支が安定し、条件が整えば再度検討していきたいと考えています。</p>

委員会	項目	質問内容	答弁内容
文経	うみがたり り (運営)	<p>(再質問)</p> <p>新しい生き物が入れば、また行きたくなると思います。例えば、カメ、ピラルク、アザラシなど旧水族館にいた生き物が、うみがたりにいるともっと入館者数が増えると思います。また、小さい子供は生き物と触れることが好きです。生き物と触れられる機会をもっと増やすと、入館者数が増えると思います。このように、「こんな生き物を入れてほしい」という市民の声をアンケートで集め、参考にすることで、リピーターを増やすことはできないのかと考えますが、どう思いますか。</p>	<p>いいアイデアだと思います。上越市でアンケートを取るのも一つの方法ですが、小・中学校でアンケートを取って「うみがたり」に送るのも一つの方法ではないでしょうか。</p> <p>自分たちの要望した生き物が展示されることで、より水族館への愛着がわいてくる、そのようなサイクルができればいいですね。</p>

委員会	項目	質問内容	答弁内容
文経	うみがたり り (観光)	<p>○水族博物館うみがたり周辺の観光振興について</p> <p>現在、うみがたりは、年を通して、90万人もの観光客が訪れているそうです。そして、観桜会でも100万人もの観光客が上越を訪れているそうです。しかし、その観光客は目当ての観光をこなすと、そのまま帰ってしまうというデータがあるそうです。それはとても残念なことだと思います。</p> <p>そして、その観光客を手ぶらで帰らせないためにも、何か、うみがたり周辺、又は、上越市全体で何か、観光振興に関する取り組みは行われていますか。</p>	<p>様々な関係団体で組織する「新水族博物館を核とした地域活性化検討会」を中心に割引クーポン券付きチラシの発行、まちなか水槽の増設、上越教育大学の学生と連携したまち歩きマップの作製など、多様な活動を行いました。</p> <p>また、実行委員会が「うみがたりオープン記念イベント」を実施し、2万人を超える来場者に上越市の食や製品の販売、観光スポット等のPRを行いました。</p> <p>市でも、そういった取り組みへの支援のほか、水族博物館内のPRコーナーの設置や直江津駅前観光案内所との連携などを通し、市内の魅力発信に向けた取組を進め、「うみがたり」来館者が街なかを散策する姿や、地域のイベントに参加する姿が見られました。</p> <p>今後は、これまでの取組を下地に、関係する皆さんが主体的に連携し、改善を図りながら取り組んでいく動きがあります。そういった思いや行動が、地域活性化に向けた重要な意義を持ち、新たな街づくりや賑わいづくりの大きな力になります。</p> <p>市としても、引き続きこうした取り組みを後押ししていきます。</p>

委員会	項目	質問内容	答弁内容
文経	うみがたり (観光)	<p>(再質問)</p> <p>上越市内で土日に行われるイベントのPRをSNSで発信したり、吉川にもヨッシャーマンというゆるキャラがいますが、レルヒさんを含めた、上越市内のゆるキャラが、土日にうみがたりに集合して各地区を紹介したり、また、上越市内のゆるキャラ人気投票を行ったりすれば、子どもたちが集まってくるのではと思いますが、どう考えますか。</p> <p>また、イベントの日を記録したカレンダー、掲示板などを活用して、インターネットで人に呼びかけをしたり、うみがたりに中心に上越を観光できるバスを運行するのはどうですか。</p>	<p>上越市内のイベントについては、上越観光ナビなどで常に最新の情報を発信しています。また、水族館のPRコーナーを活用して各地域のPRができればと考えています。</p> <p>うみがたりのホームページからもリンクで上越市の観光案内に進めるようになっていきますので、より充実を図れるよう市から普段の運営をお願いしている横浜八景島とも協議をしていきたいと考えます。</p> <p>レルヒさんなどの「ゆるキャラ」を活用したイベントは面白い発想ですので、毎週の対応はむずかしいですが、イベント時などを活用して、「ゆるキャラ」を通した市内の魅力発信を考えていきたいです。</p> <p>これからも、子供をふくめて県内外から多くの人に来館いただける「うみがたり」に育てていきたいと思えます。</p>

委員会	項目	質問内容	答弁内容
総務	税金	<p>○税の滞納について</p> <p>国民には、納税の義務があります。今年、消費税が8%から10%になり、税について色々な話題があり、税について国民が注目しています。その中でも、先日チュートリアルで徳井さんが何年間も納税をしていなかったというニュースがありました。上越市には納税者がどれくらいいて、そのうち、滞納者はどれくらいいるのですか。</p>	<p>まず、はじめに納税者がどれくらいいるかについてですが、市の税は色々な種類があるため、その中の代表として個人市民税の納税者数をお答えします。平成29年度の個人市民税の納税者数は、98,943人です。</p> <p>また、その方たちが支払わなければならない税金の額に対し、市に支払われた額の割合、収納率と言いますが、平成30年度の収納率は、99.1%です。つまり、1%弱は、支払いが期限より遅れています。</p> <p>次に、滞納者数について、お答えします。同じく、個人市民税の、まだ支払いされていない人の数は、年々減っていますが、平成30年度では、3,156人です。</p>

委員会	項目	質問内容	答弁内容
総務	税金	<p>(再質問)</p> <p>滞納者が滞納している原因としては、どのようなものがあり、その人達にどのような対応をしているのですか。</p>	<p>再質問にお答えします。滞納者が滞納している原因については、幾つかの原因が考えられます。「納税しようという気持ちが薄い場合」、「収入や資産が少なくて生活に困っている場合」、「借金を多く抱えている場合や、借金が重なって自己破産した場合」などがあげられます。また、仕事をしている人では、「仕事の収入が少ない場合」や、「会社が倒産した場合、仕事をなくしてしまった場合」などが考えられます。そのほかには、支払いをすべき人が行方不明になっていて連絡が取れない場合も考えられます。</p> <p>次に、滞納者に対してどのような対応をしているかについてです。はじめに、税金を支払うよう手紙や電話等で催促をします。中には、「災害や病気、仕事がなくなった」などのやむを得ない事情があり、支払いたいけど払えない人もいます。そうした人から納税に関する相談があれば随時相談を受けています。</p> <p>逆に、催促をしても、支払わない人に対しては、生活状況や財産の調査をしたうえで、その人の財産、お給料や貯金などを市が没収し、滞納している税金の支払いにあてます。これを滞納処分と言います。</p> <p>こうした対応を行っています。</p>

委員会	項目	質問内容	答弁内容
総務	税金	<p>(再々質問)</p> <p>そのような対応を実施して、滞納者は減少しているのですか。また、減少していない場合は、どんな策を考えているのですか。</p>	<p>全体の収納率は上がってきている (H29年 : 96.4%) のので、減少していると思われます。今後も、納税しやすい環境の整備としてコンビニ納税 (※1) や口座振替を進めたり、きめ細やかな納税相談や、納入促進員 (H30 : 15人、R1 : 13人) による訪問活動、適正な滞納処分を行っていきます。</p>

委員会	項目	質問内容	答弁内容
総務	災害	<p>○水害対策について</p> <p>先月の台風19号では全国各地で水害が発生し、多くの方が避難しました。昨年の台風では、吉川区の東鳥越・代石などで避難かん告が出ました。</p> <p>また、過去に吉川の水が堤防を乗り越え、私たちの学年主任である武田先生が住んでいらっしゃる赤沢でも大出口川へ流れこむ水がはけずに住宅に浸水する被害がありました。そこで、次の3点について、おたずねします。</p> <p>1つ目は、上越市ではどのような場所で水害が起こりやすいのか知りたいです。</p> <p>2つ目は、少子高齢化で高齢者の割合が増えている中で、スムーズに避難するためにハザードマップをより理解してもらう必要があると考えますが、現在の取り組みを聞かせてください。</p> <p>3つ目は、市として、どれくらいの規模を想定して水害対策を行っているのか知りたいです。以上、この3つについてお答えください。</p>	<p>まず、1点目の質問にお答えします。市から各家庭に配布している、洪水による被害が起きやすい区域と指定避難所等を示した「上越市洪水ハザードマップ」にあるとおり、水害が発生しやすいところには、「複数の川の合流地点や川が曲がっている所」、「川の先が細くなっている所」などのような河川が氾濫しやすい場所や、「短時間の大雨等で水路の水が上手く流れきれない（内水氾濫【浸水】する）」場所などが挙げられます。</p> <p>次に、2点目の質問です。ハザードマップをより理解してもらうための現在の取組についてですが、上越市の広報誌「広報上越」などお知らせしてハザードマップの理解を進めてもらいます。</p> <p>また、町内会活動や地域住民が協力して「自分たちの地域を自分たちで守る」ために立ち上げる組織である「自主防災組織」の活動の中で理解を進めてもらっています。特に、ハザードマップの見方や自分の地域の浸水状況を知り、情報の入手方法や自分の避難行動を学んでいただければと思っています。</p> <p>日ごろから皆さんの家庭の中でも、災害が起きたときにどうするのか話し合っただき、家庭の中での事前防災計画である「マイ・タイムライン」を作るなど、周囲の方々とコミュニケーションを取っていざという時に協力してもらえるよう勧めています。</p>

			<p>最後に3点目です。市がどれくらいの規模を想定して水害対策を行っているかについてお答えします。これまでは、「おおむね30年から100年に1回の確率で降る大雨」を想定して洪水ハザードマップを作成していました。しかし、最近、予想外の集中豪雨による被害が多く発生していることから、「おおむね1000年に1回の確率で降る大雨」を想定した洪水ハザードマップを作成しました。</p>
--	--	--	---

委員会	項目	質問内容	答弁内容
総務	災害	<p>(再質問)</p> <p>妊婦さんや障害のある方など、避難に時間がかかる人たちの避難はどんな対策を行っていますか。</p>	<p>災害時における住民のみなさんへの避難の呼びかけには、「避難準備・高齢者等避難開始」、「避難勧告」・「避難指示（緊急）」があります。</p> <p>災害時はまず、市から「避難準備・高齢者等避難開始」の情報を出します。高齢者など、避難に支援が必要な人などはこの時点での早めの避難を開始するよう勧めています。</p> <p>「避難勧告」・「避難指示（緊急）」の情報を出した際は、速やかに避難する必要がありますが、避難所などへの移動がかえって危険である場合は、自宅の、より安全なところ、水害であれば2階などへの避難を勧めています。</p> <p>また、災害時に体育館などの一般の避難所での避難生活が難しい高齢者や障害のある人などは、あらかじめ身体状況などを市で聞き取り調査し、市で指定した福祉施設などに避難できます。こうして特別な配慮を必要とする人が安心して避難できるように取り組んでいます。また、福祉避難所の対応となっていない方であっても、体育館など一般の避難所に福祉避難スペースを設けているので、そちらを利用いただいています。</p>